

特別講義プログラム

2016年度 松田康子氏 ピアノ 特別講義

1. 日 時 : 2016年 11月 9日(水) 11時 15分~15時 45分
2. 場 所 : F号館 112教室
3. 対象学生【必修】 : 公開レッスン受講生 他聴講可(学内のみ)
4. 講師紹介 : 松田 康子氏

京都出身。13歳で大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。京都市立堀川高校音楽科から東京藝術大学、同大学大学院に学ぶ。伊奈和子、土肥みゆき、田村宏、永井進、園田高弘の各氏に師事。73年渡独。ミュンヘン音大でローズル・シュミットに師事。国家芸術家試験に最優秀賞で合格。78年ヴィットリオ・グイ室内音楽コンクール入賞。84年セルジュ・チェリビダッケ指揮ミュンヘンフィルとラヴェル「ピアノ協奏曲」で共演、キャリアを本格スタートさせる。88年・90年・94年・96年ベルリン・フィルハーモニーホールでのモーツァルト・ピアノ協奏曲ツィクルス(コンラート・ラッテ指揮)。89年ザルツブルクのモーツァルト週間でレオポルト・ハーガー指揮ウィーンフィルと共演したのをはじめ、ポーランド室内管弦楽団、北ドイツ放送響、ミュンヘンフィル、中央ドイツ放送響と共演。

このほかにもザルツブルク・モーツァルト管弦楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、パドヴァ室内管弦楽団、カッセル州立管弦楽団、バッハ・コレギウム・ミュンヘンなどの公演に招かれている。

リサイタルソリストとしてミュンヘン、モスクワ、ミラノ、ヤンゴンで演奏。

2011年にはゲーティンスティテュートの招待で、バングラデシュ、インドで演奏会、マスターコースを開く。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、バイエルン放送響コンサートマスターのフロリアン・ゾーンライトナー、州立歌劇場管弦楽団首席チェロ奏者ベーター・ヴェットケ、バイエルン放送響元首席フルーティストのアンドラーシュ・アンドリアンらとしばしば舞台を共にしているほか、2004年よりフランス、スペイン、イタリア、スロベニアでフランス人バイオリニストピエール・オマージュとデュオで演奏活動。

ブゾーニ、カサ・グランデ、ポルト、ポッツォーリ、サンレモ、アンドーラ、ピネロロなどの国際ピアノコンクール、トリオ・デ・トリエステ室内楽、ヴィットーリオ・グイといった室内楽コンクールの審査員を務める。ミュンヘンのR・シュトラウス音楽院、京都市立芸術大学を経てミュンヘン音楽大学で教鞭を執る。

5. 講義概要 :

11:15	神野 有香	(大3)	ショパン	スケルツォ第4番 ホ長調 Op.54
12:00	佐々木 英里奈	(大3)	ブラームス	ピアノソナタ第2番 嬰へ短調 Op.2 第1楽章
・ 休憩 12:45~13:30 ・				
13:30	川田 美友	(大3)	ショパン	スケルツォ第3番 嬰ハ短調 Op.39
14:15	林 瑛華	(大3)	ラフマニノフ	ピアノソナタ第2番 変ロ短調 Op.36 (1931年版) 第1楽章
15:00	篠原 来実	(大3)	ショパン	スケルツォ第4番 ホ長調 Op.54